

登録コード	UAD01600	開講年度	2026				
授業題目	心理学研究指導				担当教員	高橋 知音 他	
					副担当	島田 英昭・茅野 理恵	
単位数	2	講義期間	前期(集中)	曜日・時限	集中・不定期		
				授業形態	演習		
信大コンピテンシー該当							
(1)授業の達成目標				授業で得られる「学位授与の方針」		【授業の達成目標】	
2 4 UAカリ・総人社・心理長野・発達・認知・人間科学, 2 4 UAカリ・総人社・心理長野・臨床心理学, 2 3 UAカリ・総人社・心理長野・発達・認知・人間科学, 2 3 UAカリ・総人社・心理・松本							
【研究科共通】自身の専門分野における高度な知識と技能を有する。					隣接諸科学を含めた心理学研究法に関する高度な知識と技能を有する。		
【研究科共通】量的・質的分析方法を身につけると同時に、各領域独特の解析手法を学習し、分析力を培うとともに、領域間における手法の差異を認識することにより、各領域の特徴を学び多面的に展開できる応用力を有する。					隣接諸科学を含めた心理学研究法に関する量的・質的分析方法を身につけると同時に、各領域独特の解析手法を学習し、分析力を培うとともに、領域間における手法の差異を認識することにより、各領域の特徴を学び多面的に展開できる応用力を有する。		
【研究科共通】人間と社会を探究する学問分野間の総合的な知見を活かし、俯瞰的な視野で課題を捉える力を有する。					人間と社会を探究する学問分野間の総合的な知見を活かし、俯瞰的な視野で課題を捉える力を有する。		
2 6 UAカリ・総人社・心理長野・発達・認知・人間科学, 2 6 UAカリ・総人社・心理長野・臨床心理学, 2 5 UAカリ・総人社・心理長野・発達・認知・人間科学, 2 5 UAカリ・総人社・心理長野・臨床心理学, 2 4 UAカリ・総人社・心理長野・臨床心理学							
【心理】心理学分野の高度な知識・技能を有する。					隣接諸科学を含めた心理学研究法に関する高度な知識と技能を有する。		
【心理】人間と社会を探究する学問分野間の総合的な知見を活かし、俯瞰的な視野で課題を捉える力を有する。					人間と社会を探究する学問分野間の総合的な知見を活かし、俯瞰的な視野で課題を捉える力を有する。		
【心理】心理学分野の地域中核人材・研究者として備わっているべき倫理観を有する。資格取得を目指すものは、さらに専門職としての法的義務や倫理についての知識を有する。					心理学分野の地域中核人材・研究者としての倫理観を有する。心理専門職としての資格取得を目指すものは、法的義務や倫理についての知識を有する。		
(2)授業の概要	教育心理学、発達心理学を中心に、隣接諸科学に関する基本的な研究手法を解説する。また、受講生が自らの研究計画を発表し、受講生同士の議論を行い、教員から助言を行う。						
(3)授業計画	第1回：テーマ設定のしかた 第2回：学術論文の探し方、使い方 第3回：学術論文の読み方（方法） 第4回：学術論文の読み方（結果） 第5回：学術論文の読み方（問題と目的） 第6回：学術論文の読み方（考察） 第7回：書籍の探し方、使い方 第8回：書籍の読み方（方法論に関するもの） 第9回：書籍の読み方（各論に関するもの） 第10回：研究計画の立て方（問題設定） 第11回：研究計画の立て方（情報収集） 第12回：研究計画の立て方（方法） 第13回：研究計画の立て方（分析手法） 第14回：全体を通しての復習と意見交換 受講者の人数、関心、研究計画、時事的な背景に応じて内容を変更することがある。 「心理学総合演習」の受講生と共同受講し、議論を深めることをねらうことがある。						
(4)成績評価の方法	●以下を総合して判定する。 課題への取り組み状況（100%） 所属研究室教員により調整を行うことがある。 ●得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。						
(5)成績評価の基準	【卓越している】隣接諸科学を含めた心理学研究法に関する基礎的な知識をもとに、適切な情報処理を行い、論理的に思考し、数量的に思考し、自律的に考える力を総合して、極めて高い水準にある。 【かなり上にある】隣接諸科学を含めた心理学研究法に関する基礎的な知識をもとに、適切な情報処理を行い、論理的に思考し、数量的に思考し、自律的に考える力を総合して、非常に高い水準にある。 【やや上にある】隣接諸科学を含めた心理学研究法に関する基礎的な知識をもとに、適切な情報処理を行い、論理的に思考し、数量的に思考し、自律的に考える力を総合して、高い水準にある。 【その水準にある】隣接諸科学を含めた心理学研究法に関する基礎的な知識をもとに、適切な情報処理を行い、論理的に思考し、数量的に思考し、自律的に考える力を総合して、一定水準にある。						
(6)事前事後学習の内容	●研究に対する情報を収集する。 ●研究に対する自らのアイデアや実験・調査結果をまとめる。 ●授業内容について、振り返りを行う。 ●授業内容について、書籍やネットなどで復習し、理解を深める。 ●この授業は90時間の学修を必要とする内容です。従って、60時間以上の時間外学習が必要となります。						
(7)履修上の注意	心理学分野の学生を対象とする。						
(8)質問,相談への対応	所属研究室教員が対応する。						
【教科書】	指定しない。						
【参考書】	指定しない。						